

犬と一緒に

「世界のあらゆる場所で、いろいろな役割をこなしていて、人間の生活に深いかかわりをもっている。」(『総合百科事典ポプラディア 第三版 2』「イヌ」より) 犬は大昔から人間のよき相棒として暮らしてきました。はじめて飼われた時期は化石からも正確には分からないそうです。今月は犬と人間を描いた本を紹介します。

参考：『総合百科事典ポプラディア 第三版 2』 秋山仁ほか/監修 ポプラ社



『少年と犬』

馳星周/著 文藝春秋 913 は

東日本大震災後に迷い犬となり、南を目指して日本縦断の旅を続ける多聞。旅の途中で出会った人々の人生に変化をもたらしながらも、多聞はとどまることなく南を向いて旅を続けます。多聞の旅の目的とは？

多聞と6人との交流を描いた連作短編集。

『犬が来る病院』

命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと』

大塚敦子/著 角川書店 493 お

日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け入れた聖路加国際病院。約3年半にわたる取材の中で、著者が出会った四人の子どもたちの生死を通して描く感動の記録。

こちらもおすすめ



『犬部！北里大学獣医学部』

片野ゆか/著
ポプラ社
645 か

#サークル活動 #保護犬

『犬がいた季節』

伊吹有喜/著
双葉社
913 い

#高校3年生 #昭和から平成へ

『こいぬがうまれるよ』

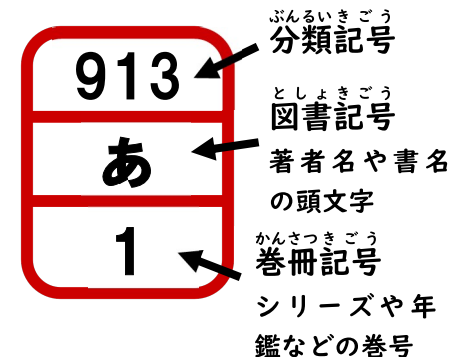
ジョアンナ・コール/文
ジェローム・ウェクスラー/写真
つばいいくみ/訳 福音館書店 645 こ

#子犬 #動物の誕生

分類のはなし

図書館の本の背表紙にはラベルが必ずついています。ラベルには数字や記号が書かれていますが、この数字や記号にはきちんと意味があります。

図書館の本は「日本十進分類法 (NDC)」という規則によって、内容別に分類記号が付けられており、その順に整理されて並べられます。この分類記号と、著者や巻号などの記号を合わせたものが「請求記号」で、館内のどこにその本が置かれているかを示しています。いってみれば「本の住所」です。



お知らせ

●5月のコーナー紹介

「運動会!」

足が速くなる方法の本など

「中学生に読んでほしい本」

読み応えのある本など

●サテライト図書館「子どもの日」

本に挟んである葉に記名してポストへ入れると貸出できます。

●返却期限を忘れていませんか？

次の人が待っています。

開館カレンダー ☆開館日

月	火	水	木	金	土	日
			1 ★	2 ★	3	4
5 ★	6 ★	7 ★	8 閉	9 ★	10	11
12 ★	13 ★	14 ★	15 ★	16 ★	17	18
19 ★	20 ★	21 ★	22 ★	23 ★	24	25
26 ★	27 ★	28 ★	29 ★	30 ★	31	

☆5月 8 日(木)は司書が研修で不在のため閉館となります。